

# ***Cobalt RaQ™ 2***

---

## ***User Manual***



## イントロダクション

---

コバルト RaQ2 はバーチャルホスティング、ウェブ、FTP および電子メールの完全なソリューションを供給する強力なネットワーク・サーバーです。

RaQ2 を使用して以下のことを行うことができます。:

- ・ 広範囲のウェブおよび FTP を公開が可能です。RaQ2 は、ウェブ上の対話型のアプリケーションの作成のためのスクリプト Perl(あるいはあなたの好みの言語)を使用して、コモンゲートウェイインターフェース(CGI)を支援します。
- ・
- ・ 複数のインターネットあるいはイントラネット・サイトをサポートします。個別のクライアントあるいはプロジェクトのための別個の 1 つあるいは複数のサイトをホストすることができます。RaQ2 は、最もポピュラーな 3 つのインターネットサービスである、ウェブ、FTP および電子メールの包括的な支援を提供します。
- ・
- ・ 個人とグループへの電子メールによって内部かつ外部コミュニケーションを可能にします。標準の個々の電子メールに加えて、メッセージに対する自動レスポンスやメールの転送を行えます。これらのサービスは、エクストラネットあるいはイントラネット環境内に、あるいはインターネットを経由して利用することができます。

### RaQ2 の管理者

このガイドは、開発やウェブサイトをホストするために RaQ2 を使用するサーバー管理者のためにあります。サーバー管理者は、Microsoft Windows か Macintosh オペレーティング・システム、およびネットスケープ Navigator、Microsoft インターネット・エクスプローラーのウェブ・ブラウザに精通しているべきです。

RaQ2 は複数のインターネットあるいはイントラネット・サイト(ウェブ、電子メールおよび FTP サービスの提供)をホストすることができます。3 種類のユーザレベルにて使用することができます:

- ・ サーバー管理者は RaQ2 をコントロールし稼働させる権限をもっています。RaQ2 の設定、維持、バーチャルサイトの設定、またサイト管理者およびサイト・ユーザにサービスを提供します。サーバー管理者は、さらに任意のバーチャルサイトの管理者の役割をすることができます。
- ・ サイト管理者は、バーチャルサイトでサイトのユーザのためにウェブ、電子メールおよび FTP サービスを提供することができます。サイト管理者は、そのバーチャルサイトのユーザアカウント(アクセス権)、メーリングリスト、および FTP サービスを設定しコントロールできます。また、ユーザの電子メールアドレスを設定、site のディスクおよびウェブ使用に関するレポートの生成、サイト上のファイルのバックアップ・

リストアをすることができます。

- ・ サイト・ユーザは、電子メールの送受信、FTP サービスによるファイルのアップロード・ダウンロード、ウェブページの公開や、自分のホームディレクトリーのバックアップ・リストアができます。

## このガイドの構成

- 1章、 RaQ2 の機能の概要。
- 2章、 RaQ2Administration はサーバー管理者機能についての説明。
- 3章、 サイト管理者機能についての説明。
- 4章、 RaQ2 サービス(電子メール、ウェブおよび FTP)を利用する方法、ユーザーのディレクトリーを管理(モニター・ディスク使用法、またファイルのバックアップとリストア)する方法を説明しています。

Appnedix C Advanced Information は、開発ツール、conTguration ファイル、および RaQ2 ディスクのディレクトリー構造についての情報。

## RaQ2 の管理

図 7 RaQ2 ホーム・ページ



デフォルト RaQ2 ホーム・ページは、UNIX ディレクトリーの `/home/sites/home/web` の `index.html` に格納されます。このページは URL `http://IP アドレス` で表示されます。サーバー管理者が新しいホーム・ページを作成し、`index.html` ファイルを変更すると、デフォルト RaQ2 ホーム・ページはそのファイルに交換されます。

本章では、サーバー管理者によってのみ実行することができる機能について解説します。しかしながら、サーバー管理者は、さらに 4 および 5 章に記述された、サイトに関連しユーザータスクを実行することもできます。

3 つのレベルの RaQ2 ユーザは次のとおりです:

### ユーザー

ユーザー名

RaQ2Admin : "admin" のユーザー名を持ったサーバー管理者は RaQ2 のすべてをコントロールでき、かつメインサイトのメンバーです。

SiteAdmin : パーチャルサイトの管理者です。ユーザーに対して、Web、電子メールおよび FTP サービスを提供することができます。

SiteUser : ユーザは、サイトによって提供される FTP サービスを利用してサイトのアップロードおよびダウンロードを行ったり電子メールを利用することができます。サイト上のウェブ・ページを公表することができ、彼らのホームディレクトリのバックアップやリストアを行うことができます。

サーバー管理者は任意の標準のブラウザを使用して、RaQ2 を管理します。RaQ2 サーバー管理(Server Management)サイト <http://IP アドレス/admin/> にアクセスしてください。このサイトはパスワードで保護されているので、管理者パスワードを入力してください。ID は admin です。このサイトで下記のサーバー管理タスクを行うことができます。

(1)サーバーの各種設定およびメンテナンス

(2)バーチャルサイトの作成

(3)サイト管理者およびサイト・ユーザにアクセス権を設定し、サービスを提供する

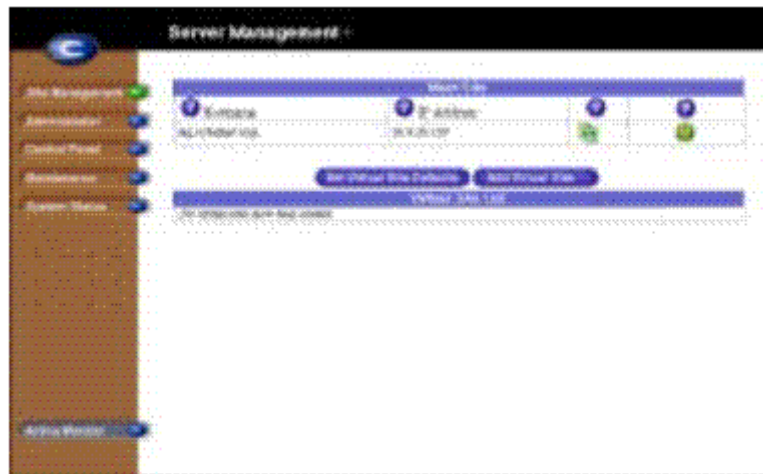
サーバー管理(Server Management)スクリーンで利用可能なサーバー管理者機能を、以下のセクションで説明します。

## サイト管理セクション (Site Management Section)

RaQ2 は [www.abc.co.jp](http://www.abc.co.jp) または [www.xyz.com](http://www.xyz.com) のような複数のサイトをホスティングできるように設計されています。各サイトは、電子メールの送受信や、ウェブページの公開、FTP によるファイルをアップロードやダウンロード、アノニマス FTP を行えるユーザーを設定することができます。

サーバー管理(Server Management)のサイト管理(Site Management)セクションでは、サーバー管理者は、サイトを作り管理することができます。このセクションには 2 つのテーブルがあります。ひとつはメインサイトの内容で、もうひとつはバーチャルサイトのリストです。

図 8 サーバー管理 (Server Management)



サイト管理(Site Management)セクションの、メインサイトおよびバーチャルサイト・リストには 4 つの項目があります。ホスト名、IP アドレス、アノニマス FTP またはフロントページのサーバーエクステンションの利用を表わすアイコンの表示、そして、サイトの管理および削除のアイコンが並びます。

## バーチャルサイトの設定

??ページのバーチャルサイトの設定手順にしたがって、サーバー管理者はサイトを設定することができます。サイトを作る場合に必要な情報を説明します。

- ・ IP アドレス。RaQ2 を使用するためには、IP アドレスあるいは IP アドレスの範囲を指定する必要があります。

注意:RaQ2 はネームベースのバーチャルサイトサポートしており、ひとつの IP アドレスで複数のサイトを運用することが可能です。しかしながら、アイルのサービスにおいては、このネームベースのバーチャルサイトの設定は禁止しております。

- ・ Hostname : 各サイトにはホスト名(例 www または ftp など)が必要です。
- ・ ドメインネーム : ドメインネーム(例 : abc.com または xyz.com)が必要です。このドメインネームは、JPNIC や InterNIC に登録されている必要があります。注意:RaQ2 は DNS サーバーとして利用することもでき、hostname を提供することができます。
- ・ 電子メール : ホスト名 (user@www.domain.com) およびドメインネーム (user@domain.com)の両方の電子メールアドレスを持つことができます。
- ・ ディスク容量(MB) : 各サイトが使用することができるディスク容量の制限を設定します。サーバー管理者は、いつでもこの制限を変更することができます。
- ・ 最大のユーザ数の設定 : サイト管理者が発行できるユーザの数の上限です。サーバー管理者はいつでもこの制限数を変更することができます。
- ・ ウェブアクセスレポートの生成 : ウェブアクセスレポートの発行と、生成のサイクルを設定することができます。このオプションはサーバー実行に少しだけ負荷がかかります。
- ・ シェル・アカウントの許可 : サーバーへの Telnet アクセスおよびシェルコマンドへの実行を許可します。サイト管理者がシェルアクセス権をもてば、サイト管理者はユーザごとにシェルアクセス権を与えることができます。
- ・ CGI スクリプトの許可 : このサイトおよびすべてのサイト・ユーザが CGI を利用することが可能になります。
- ・ SSI の許可 : サーバー・サイド・インクルード (SSI) の利用を許可します。ファイルの拡張子は.shtml にする必要があります。
- ・ FrontPage Server Extensions の設定 : 各サイトおよびそれらのユーザがウェブ・ページ開発のために FrontPage Server Extensions を使用することを許可します。FrontPage Extensions が可能になると、サイト用のルートウェブが自動的に作成されます。サイト管理者はユーザ、フロントページウェブを個々に設定したり削除することができます。

- ・ アノニマス FTP: 設定されたディスク容量の限界まで、パスワードのないユーザが FTP でファイルのダウンロード・アップロードすることを許可します。サーバー管理者として、任意のサイトにアノニマス FTP の利用を許可することができます。管理者は、さらに、匿名でアップロードすることができるファイルのサイズやサイトへの匿名ユーザの同時アクセス数の制限を設定することができます。

注意: RaQ2 で使用中の各 IP アドレスに 1 つ以上のアノニマス FTP サイトがあるかもしれません。

## バーチャルサイトのデフォルト設定

新しく加えるすべてのバーチャルサイトに基本サービスのデフォルト設定を行うことができます。

このデフォルト設定はサーバー管理者のみが行うことができます。サーバー管理者が FrontPage Server Extensions や Shell Account を可能にする場合にのみ、サイト管理者はユーザーに対して、frontpage を利用可能にしたり、shell Account を許可したりすることができます。

サーバー管理(Server Management)スクリーンから、次のステップにしたがってバーチャルサイトデフォルトを設定することができます:

1. サイト管理(Site Management)をクリックします。
2. バーチャルサイトデフォルト(Virtual Site Defaults)をクリックします。
3. サイトに情報を登録します。? ページのバーチャルサイトの設定を参照してください。
4. Save Changes をクリックします。

個々のバーチャルサイトの設定を変更することもできます。

## バーチャルサイトの追加

サイトを追加するには、サーバー管理(Server Management)スクリーンから、以下のステップに従ってください。:

1. サイト管理(Site Management)をクリックします。
2. Add Virtual Site をクリックします。
3. サイトの情報を登録します。サイトデフォルトページからの情報はここに反映されません。
4. Confirm New Site をクリックします。

Modify アイコンをクリックすることにより追加されたサイトの設定を変更することができます。? ページのサイト設定の変更を参照してください。

新しいバーチャルサイトにサイト管理者を割り当てるためには、次のサイト・ユーザの追加に従ってください。

## サイト・ユーザの追加

バーチャルサイトを作った後、そのサイトにユーザの追加や削除、サイト管理者の割り当

てを行うことができます。サーバー管理(Server Management)スクリーンから以下のステップに従ってください:

1. サイト管理(Site Management)をクリックします。
2. ユーザーを追加したいサイトの Modify アイコンをクリックしてください。
3. Add User をクリックします。
4. ユーザ情報を登録します。ユーザー名およびパスワードを入力して、ユーザのディスク容量の制限、テルネット/シェルアクセスの可否、サイト管理者の可否、フロントページ・ウェブの可否を設定します。さらにこのユーザに電子メールを設定することができます。(電子メール aliases は、??ページのユーザ電子メール設定を参照してください。)
5. Confirm New User をクリックします。

## サイト・セッティング(Site Settings)の変更



特定のサイトの設定を変更するには、サイト修正のアイコンをクリックし、サイト管理(Site Management)のサイト設定(Site Settings)スクリーンをクリックしてください。サイト設定(Site Settings)テーブルでは、IP アドレス、ホスト名、ドメインネーム、電子メール、最大ディスク・スペース、ユーザの最大数、ウェブのアクセスレポートの生成、シェル・アカウントの可否、CGI スクリプトの可否、サーバー・サイド・インクルードの可否およびフロントページサーバー拡張(FrontPage Server Extensions)の設定を行うことができます。

注意: サイト修正アイコンをクリックすると、そのサイトのサイト管理(Site Management)に移動します。4章に記述された任意のサイト管理タスクを実行することができます。

## バーチャルサイトの削除

バーチャルサイトを削除するには、サーバー管理(Server Management)から、以下のステップに従ってください:

1. サイト管理(Site Management)をクリックします。
2. バーチャルサイト・リスト(Virtual Site List)テーブルで、削除したいバーチャルサイトのごみアイコンをクリックしてください。
3. 確認ダイアログ・ボックスが現れますので、サイト・アカウント、ユーザおよびファイルをすべて削除する OK をクリックしてください。

## サイト・ユーザの削除

サイト・ユーザを削除するには、サーバー管理(Server Management)スクリーンから、以下のステップに従ってください:

1. サイト管理をクリックしてください
2. 削除したいユーザの属するサイトの修正アイコンをクリックします。
3. サイト管理(Site Management)スクリーン上のユーザ管理(User Management)をクリックし、削除したいユーザを選択します。
4. 削除したいユーザのごみアイコンをクリックします。



5. ユーザーアカウントおよびファイルを削除するために現われる確認ダイアログ・ボックス中の OK をクリックします。

## 管理者セクション

サーバー管理(Server Management)スクリーンの管理者セクションでは、ユーザー名、パスワード、および緊急用電子メールアドレス(サービスにエラーが発生したときにメールが送られる)を含む、サーバー管理者に関する情報を入力します。パスワードは 2 度入力する必要があります。管理者情報をすべて入力し終わったら、Save Changes をクリックしてください。

!警告:パスワードは絶対に忘れないでください。パスワードを忘れると、パスワードのリセットを行う必要があります。別途費用が発生します。

### サーバー管理者パスワードの変更

サーバー管理(Server Management)スクリーンで、Administrator をクリックして、管理者のパスワードを変更することができます。

## コントロール・パネル・セクション

サーバー管理(Server Management)スクリーンのコントロール・パネル・セクションによってサービス、ネットワークおよび時間設定をセットすることができます。

注意:各項目のヘルプを参照したいときは、フィールドに隣接しているアシストアイコン( ? )をクリックしてください。

## サービス

RaQ2 のサービスの設定をおこなうには、サーバー管理(Server Management)スクリーンに行き、Control Panel をクリックし、次に、スクリーンの一番上の Service ボタンをクリックします。サービス・セッティング(Service Settings)テーブル(ウェブ・サーバー以外の)中でリストされたサービスのチェックボックスをクリックしてください。サービス内容の詳細は、下記のセクションで説明します。

注意:ユーザーの RaQ2 サービスの利用方法は 5 章を参照してください。

### ウェブ・サーバー

このサービスは常にオンです。

5 章に記述されるように、ユーザーがウェブコンテンツにアクセスすることを可能にします。

## 電子メールサーバ

各サイトで電子メールが利用できます。デフォルトでは、各ユーザに、電子メールアカウントを発行することができます。

電子メール用パラメーターのクリックにより電子メールパラメーターをセットすることができます。どのメールを受け取るかを指定することができます。また特定のサイトからのメールのブロックや、受け取る電子メールのファイルサイズの制限を設定することができます。

**重要：**電子メールを受け取るためには、ネットワークがシステム管理者がセット・アップウィザード(Setup Wizard)の中で指定した RaQ2 ホスト名を DNS サーバーに設定する必要があります。上述の"Network"に、DNS server の IP アドレスが、RaQ2 ネットワーク・セッティング(サーバー管理(Server Management)スクリーンのコントロール・パネル・セクション中の)に入力されていない場合は、SMTP は動作しません。

以下の電子メールパラメーターを設定することができます。：

**最大の電子メールメッセージサイズ** 受信する電子メールメッセージのサイズを制限することは重要なことです。ディスクスペースに余裕がない場合には、利用可能なディスク・スペースを超過するメッセージを受け取りません。メッセージは送信者に「配送不能」と返信されます。

**リレー E メール** 電子メールメッセージを中継したいサイトの IP アドレス、ドメインネーム、hostnames をすべて入力してください。例えば、RaQ2 に abc.com があり、xyz.com から RaQ2 の SMTP サーバーを使用したい場合には、xyz.com を入力してください。

**電子メールの受理** 電子メールを受け取りたいサイトの IP アドレスかドメインネームをすべて入力してください。ここに入力されたドメインだけが電子メールを受け取ることができます。例えば、who@domain.com への電子メールアドレスを受信したければ、domain.com をこのフィールドに加えてください。

**電子メールのブロック** メールを受けたくない送信元のサイトドメインか IP アドレスを入力してください。これらのアドレスからあなたにメッセージを送ろうとしても、代わりにエラー・メッセージを受け取るようになります。

### ファイル転送プロトコル(FTP)サーバー

ユーザがファイル転送プロトコル(FTP)を使用して、RaQ2 の上のファイルをアップロード、ダウンロードすることができます。ユーザは、FTP クライアント・ソフトウェアを使用してファイルを転送することができます。

### Telnet サーバー

Telnet アクセスは利用可能ですが、UNIX オペレーティング・システムが理解できている人にも使用されるべきです。システム設定ファイルをまちがって修正すれば、RaQ2 の実行に悪影響を及ぼします。

注意：サービス・メニュー中で telnet サービスを禁止すると、shell アクセスを許可されていたユーザーもすべて、telnet アクセスが禁止されます。

### シンプルネットワーク管理プロトコル(SNMP)

サービス・セッティング(Service Settings)テーブル中でこのオプションを ON に設定したならば、Parameter をクリックして、SNMP エージェントに読出専用、読み書きアクセスができる SNMP コミュニティーを指定することができます。デフォルトの読み取りアクセス・コミュニティは"public"です。

### レガートファイル・バックアップ

RaQ2 はレガート社の NetWorker クライアント・ソフトウェアをサポートしています。詳しくは <http://www.legatosystems.co.jp/> をご覧ください。

### ドメインネーム・サービス(DNS)サーバー

ドメイン名は、会社やサーバー名を含む階層および.com または.jp のような国コードで形成されます。CobaltNetWorks,inc.は dns.cobaltnet.com、や www.cobaltnet.com、のサーバーを使用するためにドメインネーム cobaltnet.com を登録しています。dns と www は異なるホストです。

DNS サーバーを設定するには:

1. 管理者サイト(Administrator Site)上のコントロール・パネル・ボタンをクリックします。
2. スクリーンの一番上のサービス・ボタンをクリックします。
3. Domain Name Service(DNS)サーバーのチェックボックスをクリックします。

その後、テーブルのDNSの隣のパラメーターをクリックすることによりオプションのDNSサービスの設定をすることができます

### プライマリ DNS の設定

プライマリ DNS は、コンピューター名とそれらの IP アドレスを関連つけます。

プライマリ DNS を設定するには下記のステップに従ってください。:

1. 管理者サイト(Administrator Site)上のコントロール・パネル・ボタンをクリックします。
2. スクリーンの一番上のサービス・ボタンをクリックします。
3. ドメインネーム・サービス(Domain Name Service)(DNS)サーバーのチェックボックスをクリックします。
4. テーブル中のDNSの隣にあるパラメーターをクリックします。
5. addrecord プルダウンメニューから、ForwardLookup を選びます。
6. 設定したいホスト名/ドメインネームを入力し、その IP アドレスを入力します。

7. hostname/IP アドレスを両方向で参照することができるように、逆引き (Automatic Reverse Lookup Generation)を設定することができます。
8. Update List をクリックします。

### 逆引き設定

DNS サーバーは、IP アドレスからコンピューター名を参照できるのと同様にコンピューター名から IP アドレスを参照することができるように設定。

逆引きの指定:

1. 管理者サイト (Administrator Site) 上のコントロール・パネルをクリックします。
2. スクリーンの一番上のサービス・ボタンをクリックします。
3. テーブル中の DNS の隣りにある、パラメーターをクリックします。addrecord プルダウンメニューから、Reverse Lookup を選びます。
4. 設定したいホスト名/ドメインネームを入力し、その IP アドレス/ネットワークマスク (Network Mask) に入力します。
6. Update List をクリックします。

### メール・サーバーの指定

メールサーバーを指定するためにプルダウンメニューから、mail exchange server を選びます。その後、Update List をクリックして DNS サーバーを更新してください。

### ネーム・サーバレコードの追加

ドメイン登録機関によってはセカンダリネームサーバーを要求します。

ネーム・サーバ・レコードを追加するには:

1. 管理者サイト (Administrator Site) 上のコントロール・パネルをクリックします。
2. スクリーンの一番上のサービス・ボタンをクリックします。
3. テーブル中の DNS の隣りにある、パラメーターをクリックします。
4. addrecord プルダウンメニューから、Secondary Nameserver を選びます。
5. プライマリ DNS およびセカンダリ DNS の hostname のドメインネームを入力します。
6. Update List をクリックします。

### セカンダリ DNS の設定

セカンダリ DNS サービスは非常用の DNS サービスを提供するために設定します。プライマリ DNS サーバーがダウンした場合、コンピューターはセカンダリ DNS サーバーを使用します。

セカンダリ DNS の設定は下記のステップに従ってください。:

1. 管理者サイト (Administrator Site) 上のコントロール・パネルをクリックします。
2. スクリーンの一番上のサービス・ボタンをクリックします。
3. テーブル中の DNS の隣りにある、パラメーターをクリックします。
4. addrecord プルダウンメニューから、Secondary Forward Domain を選びます。
5. 設定したいセカンダリドメインネーム、および対応するプライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

6. Update List をクリックします。

DNS に関するすべての設定が終わったら、Save Changes to DNS Server をクリックし、DNS サーバーへの変更を保存します。

## ネットワーク

ネットワーク設定情報を入力するや変更するためにコントロール・パネル・セクションの一番上のネットワーク・ボタンをクリックしてください。

これらの設定のより RaQ2 をネットワークにつなぐことができますようにします。

IP アドレスを変更した場合、システムはリブートされます。

## タイム

正確な時間および日付、および時間帯を入力するために、コントロール・パネル・セクションの一番上のタイムボタンをクリックしてください。さらに RaQ2 が毎晩その内部クロックをシンクロさせる NTP サーバー名を指定することができます。

## メンテナンス・セクション

サーバー管理(Server Management)スクリーンのメンテナンス・セクションは、RaQ2 の毎日のオペレーションを行うための、いくつかのウェブ・ベースのユーティリティを提供します。これらのユーティリティを利用するには、サーバー管理(Server Management)スクリーン上のメンテナンスをクリックし、次に、使用したいユーティリティに相当するボタン(スクリーンの一番上の)をクリックします。

## バックアップ

管理者として、異なるタイプのバックアップを実行することができます。RaQ2 上のデータをバックアップするためには、以下のステップに従ってください:

1. 管理者サイト(Administrator Site)/メンテナンススクリーンの一番上のバックアップ・ボタンをクリックします。
2. データのバックアップの中で、バックアップのタイプを選択:
  - ・ **サーバー構成、電子メールとユーザのファイル。** ユーザおよびシステム設定のサーバー構成ファイル、ユーザーのファイル、グループ・ファイルおよび電子メールボックスをすべてバックアップします。
  - ・ **サーバー構成。** システム設定情報とおよびユーザおよび管理者のためのサーバー構成ファイルをすべてバックアップします。
  - ・ **ユーザのファイルおよび電子メール。** ユーザーのファイルと電子メールをすべてバックアップします。
  - ・ **バーチャルサイトの特定のユーザーのファイル。** これは、特定のバーチャルサイト用のファイルおよび電子メールをバックアップします

3. すべてのファイルあるいは、ある時間枠の内で変更されたファイルをすべてバックアップするためには、「過去どれだけの期間に変更されたファイルをバックアップするか？」のプルダウンメニューからを選んでください。すべてのファイル、31日、14日、7日、2日、あるいは1日前の期間を選ぶことができます。
4. スタート・バックアップ(Start Backup)をクリックします。
5. バックアップ・データを格納するパソコン上のパスおよびファイル名を割り当てて、次に、SAVE をクリックします。

ファイルの転送には数秒から数分かかります。ファイルの転送を中断しないでください。転送が失敗した場合には、パソコン上のバックアップファイルを削除して、再度転送してください。そうでなければ、そのファイルをリストアしようとしたときに、データをおかしくする可能性があります。

**!警告:**インターネット・エクスプローラー 3.0 を使用して、バックアップを行うことはできますが、リストアを行うことはできません。ブラウザをアップグレードするか、あるいは最新のブラウザを使用してバックアップしてください。

### **バックアップのスケジュールリング**

自動的にバックアップを行うことが可能です。マニュアルでバックアップを行う手順が省けます。:

1. 管理者サイト(Administrator Site)/メンテナンススクリーン一番上の Backup ボタンをクリックします。
2. Scheduled Backup をクリックします。
3. 「データのバックアップ」で、前のセクション中のステップ 2 に記述されているようにバックアップのタイプを選択します。
4. すべてのファイルあるいはある期間に変更されたファイルをバックアップするかは「過去どれだけの期間に変更されたファイルをバックアップするか？」のプルダウンメニューからを選んでください。
5. 自動バックアップの周期を選びます。
  - ・ 毎日 午前 1 時
  - ・ 毎週 日曜夜、午前 1 時
  - ・ 毎月 1 日の午前 1 時
6. バックアップ方法を選びます。
  - ・ FTP サーバー バックアップファイルを置く FTP サーバー
  - ・ NFS バックアップファイルを置く NFS。
7. バックアップ・データの保存する位置を指定します。指定する位置は、ステップ 6 で選択したバックアップ方法に依存します。ここで入ることができる位置の説明に関しては、下記の Backup ファイル位置を参照してください。
8. Save Changes をクリックします。

### **バックアップ・ファイルの位置**

#### **A . FTP サーバーのバックアップ:**

- ・ username@ftp.server.com と記述すると、ユーザー名でログインした指定のサーバーのディレクトリに保存します。
- ・ username@ftp.server.com/path/to/backups/ と記述するとユーザー名でログインし、サーバーの指定するパスのディレクトリバックアップファイルを入れる保存します。

#### **B.アノニマス FTP バックアップ:**

- ・ 書き込みアクセスを持つアノニマス FTP のサーバー名とディレクトリー名を入力してください。一般に /incoming/ ディレクトリーです。
- ・ ftp.server.com/income/ 、と入力すると ftp.server.com の incoming ディレクトリにバックアップファイルを保存します。
- ・ Password フィールドはアノニマス FTP の場合には空欄にしてください。

#### **C.NFS サーバー(NFS Server)バックアップのために:**

- ・ サーバーが NFS サーバーで、NFS のマウントボリュームが share である場合、server:/share と入力してください。このディレクトリーに対して書き込み権限を持っていないければなりません。
- ・ Password は、NFS サーバー・バックアップでは無視されます。

#### **すべての予定された(All Scheduled)バックアップのために:**

バックアップ・アーカイブを保持するためにバックアップ先のディスクに十分なディスク・スペースがあることを確かめてください。そうしないと正しくバックアップが行われなくなります。

## **リストア**

RaQ2 のデータのリストアは単純に行えます。バックアップファイルのあるマシンからリストアを行います。(ユーザは自分の個人のディレクトリーを回復することができます。)

リストア:

1. 管理者サイト(Administrator Site)の左側のメンテナンス・ボタンをクリックします。
2. スクリーンの一番上の Restore ボタンをクリックします。
3. バックアップファイルのパスおよびファイル名を入力するか、あるいは参照ボタンをクリックし、リストアするファイルを選択します。ネットスケープ 4.x あるいはインターネット・エクスプローラー 4.x 以上を使用しているにもかかわらず、ファイルがリストに表示されない場合には、ファイルの種類をすべてのファイルにしてください。
4. リストアするファイルを選びます。
5. Restore A Backup File をクリックしてください。

注:大きなバックアップ・アーカイブのリストアを行うとブラウザはタイムアウトを起こす場合があります。Administrator のホームディレクトリーへ FTP により".raq"アーカイブファイルをアップロードし、それをリストアすることができます。

マイクロソフトインターネット・エクスプローラー(Microsoft Internet Explorer)バージョン 3 ではアーカイブのリストアはできません。 データーを悪くする可能性がありますので、最新のブラウザを使用してください。回復するプロセスが中断される場合、再度やり直してください。ユーザ・ホームディレクトリーあるいはグループ・ホームディレクトリーを回復するためには、ユーザあるいはグループが存在していることを確かめてください。

データがリストアされると、RaQ2 およびその対応する部分(グループ、ユーザ、電子メール)はバックアップを行った時点のデータに戻ります。

!警告:最新のバックアップデータ以外からのリストアを行うと、それ以後に変更されたデータは上書きされてしまいます。

## ソフトウェアのインストール

ブラウザからの RaQ2 に新しいソフトウェアを加えることができます。以下のステップは、Cobalt のウェブ・サイトあるいは Cobalt Networks,inc. によって供給される CD のいずれかから新しいソフトウェアをインストールする方法を説明します。

Cobalt ウェブ・サイトからのソフトウェアのインストール、アップグレード:

1. パソコンに新しいソフトウェアをダウンロードします。  
<http://www.cobaltnet.com/support/>を参照してください。
2. サーバー管理(Server Management)スクリーンのメンテナンス・セクション中で、ソフトウェア(スクリーンの一番上の)のインストールをクリックします。
3. コンピューターにダウンロードしたパッケージを BROWSE をクリックして選択し、「開く」をクリックしてください。
4. Install a .pkg package をクリックすると、自動的に RaQ2 に新しいソフトウェアのインストールやアップグレードが始まります。

CDからのソフトウェアのインストール:(ユーザー用では削除)

1. RaQ2 と同じネットワーク上のコンピューターに CD を挿入します。
2. CD を持っているコンピューターから、サーバー管理(Server Management)スクリーンに行って Maintenance をクリックし、次に、Install Software(スクリーンの一番上の)をクリックしてください。
3. BROWSE をクリックし、インストールするパッケージを選択して「開く」をクリックしてください。
4. Install をクリックすると、自動的に RaQ2 に新しいソフトウェアのインストールが開始されます。

## リポート

リポートを行うことにより、サーバーの問題を取り除くことができます。ブラウザからメンテナンスをクリックして、サーバー管理(Server Management)スクリーンで、リポート(スクリーンの一番上の)をクリックします。現われるテーブルで、Reboot ボタンをクリックしてください。リポートが開始されます。

コンソールパネルの LCD の使用によりリポートすることもできます;Appendix A のリポートを参照してください。リポートには数分かかります。



## シャット・ダウン

ブラウザからシャットダウンすることはできません。

RaQ2 は、ユニットの正面の LCD コンソールからのみ、シャット・ダウンを行うことができます。Appendix A のシャットダウンを参照してください。シャットダウンには数分かかります。

**!警告:**このシャットダウンの方法をとらずに電源スイッチを切ると、ハードディスクの破損やデータを損失する可能性があります。

## システム・ステータス・セクション

サーバー管理(Server Management)スクリーンのシステム・ステータス(System Status)セクションにより、CPU、メモリ、ディスクおよびネットワーク・ステータスをモニターすることが可能です。RaQ2 は、サブシステムの各状態をモニターし、常に、各アイテムに緑か黄色か赤いボタンを表示します。

緑：システムが正常に動作していることを意味します。

黄：潜在的な問題を示します。

赤：問題が存在することを示します。

システム・コンポーネントかサービス名の各項目をクリックすることにより、その問題の内容を知ることができます。

## システム・コンポーネント

### CPU

CPU Usage Chart は、CPU ロードをリアルタイムに表示します。この表示は、実行されるために待つタスクの数を示します。このチャートは CPU に負荷がかかっているかどうかを判断する材料になります。

### メモリ

Memory Status Chart により、利用可能な物理メモリーがあるかどうか判断することができます。このチャートで赤信号が点灯していれば、より多くのメモリーが必要ということです。

### ディスク

Disk Usage Summary は、サイトおよびサイト・ユーザ、システムファイルによって占められたディスク・スペースの合計、および、利用可能なディスク・スペースの量、およびディスクのサイズの合計を表示しています。

### ネットワーク

Network Usage Chart は、ネットワーク・パケットの送受信の成功数、エラー数、ドロップ数、衝突数を表示します。

## サービス

サービス・ステータス(Service Status)セクションでは、ウェブ、電子メール、FTP、テルネット、DNS および SNMP サービスのモニターを行います。システム・ステータス(System Status)セクションと同様にカラーマークで表示します。

### ウェブ・サーバー

ウェブ・サーバー・ステータス(Web Server Status)チャートは、ウェブ・サーバーのステータスを表示します。

### 電子メール

電子メールステータス(Email Status)チャートは、POP3 サーバー、IMAP4 (Internet Message Access Protocol 4)サーバー、およびメール転送プロトコル(SMTP)サービスのステータスを表示します。このチャートは、これらのサーバーが通常作動しているかどうか示します。

### ファイル転送プロトコル(FTP)

ファイル転送プロトコル(FTP)ステータスチャートは、FTP サーバーオペレーションの状況を表示します。

### Telnet

テルネットステータス(Telnet Status)チャートは、テルネットサーバーオペレーションが正常か異常かの状況を表示します。

## SNMP

SNMP(SimpleNetworkManagementProtocol)チャートは、SNMP サーバーオペレーションが正常か異常かのステータスを表示します。

## レガートファイル・バックアップ

バックアップおよびリストア時に Legato NetWorker クライアント・ソフトウェアを使用する場合にはこのオプションを設定してください。

## ドメインネーム・サービス(DNS)

DNS ステータスチャートは、DNS が適切に作動しているかどうかを表示します。

## アクティブ・モニタ・セクション

RaQ2 はアクティブ・モニタ・ソフトウェア(バックグラウンドでシステム・コンポーネントおよびサービスを常時監視するソフトウェア)を使用しています。色ボタンでステータスを示すことにより潜在的な問題に関するアクティブ・モニタレポートを常に参照することができます。

アクティブ・モニタ・セクションを参照するには、サーバー管理(Server Management)スクリーン上のアクティブ・モニタあるいはシステム・ステータス(System Status)をクリックしてください。このセクション中でリストされたコンポーネントあるいはサービスで赤信号が点灯していれば、それはアクティブ・モニタからの警告です。コンポーネントまたはサービス名をクリックして、エラーの内容を確認してください。

## RaQ 2 管理へのアプローチ

サーバー管理者として、サーバー機能のどれだけ直接管理したいか、どれだけの管理を他のユーザーに任せるかを決定することができます。

- ・ **フルコントロール**。RaQ2 の機能をすべてコントロールしたければ、任意のバーチャルサイト管理者を割り当てずに、バーチャルサイトを作ることができます。この方法では、サーバー管理者は主要なサイトおよびすべてのバーチャルサイトの管理の責任を負います。
- ・ **ハイブリッドコントロール**。RaQ2 の一部の機能のみをコントロールしたり、他のユーザーに委任する場合は、それぞれのバーチャルサイトに管理者を割り当てることができます、そして、他のサイトのために管理者を割り当てます。この方法だと、サーバー管理者は、管理者を持たないサイトにのみ責任を負います。
- ・ **コントロールの分配**。すべてのサイトに対する責任を委任したければ、すべてのバーチャルサイトに対し、それぞれのサイト管理者を作成してください。これにより、サーバー設定およびサイト・サービスだけの管理に責任を負います。サイトの管理はサイト管理者の責任となります。

## サイト管理

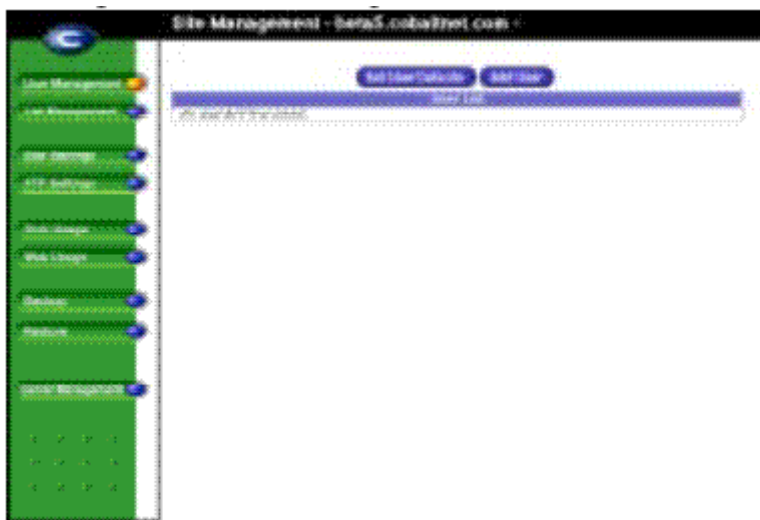
RaQ2 の上には、サーバー管理者、サイト管理者およびサイト・ユーザの 3 つのタイプのユーザが設定されます。

本章は、サイト管理者によって通常実行される機能について説明します。サイト管理者はサイト・ユーザの追加や削除、メーリング・リストの作成、ディスクの管理、バックアップおよびリストア、サイトに関連する他の管理上のタスクを行うことができます。(もちろんサーバー管理者がこれらの機能を実行することも可能です。)

サイト管理者として、任意の標準のウェブ・ブラウザを使用して、サイトを管理します。URL `http://<sitename>/siteadmin/` にアクセスし、サイト管理(Site Management)スクリーンにアクセスすることができます。プロンプトはサイト管理者のユーザー名およびパスワードを入力するよう要求してきます。

サイト管理(Site Management)スクリーンの左側のセクションをクリックして、各セクションの管理を行うことができます。これらの機能については、下記に説明します。

図 9 SiteManagement



### ユーザ管理セクション

サイト管理(Site Management)スクリーンのユーザ管理(User Management)セクションでは、ユーザーの追加、削除、パスワードの入力・修正、ユーザーのディスク容量の制

限、テルネットアクセスおよび電子メールを管理することができます。

## ユーザの追加

サイトへユーザを加えるには、以下のステップに従ってください:

1. サイト管理(Site Management)スクリーンに行きます。
2. ユーザ管理(User Management)をクリックします。
3. Add User をクリックします。
4. ユーザに情報を登録します。

ユーザーおよびパスワード、ユーザのディスク制限、テルネットアクセスの可否を設定します。また電子メールエリアス(ユーザ電子メールセッティング(User Email Settings)を参照してください。) さらにバーチャルサイトの管理権限をユーザに割り当てることができます。

5. Confirm New User をクリックします..

## 電子メール設定およびエリアスの入力

### メール転送および自動返信

別のサーバーの電子メールアカウントへ RaQ2 に届いた電子メールを転送するように設定することができます。さらに、電子メールを送ってきた人へ自動的にメッセージを返信するように設定することができます。サイト管理者として、??ページのユーザー設定の変更で説明しているように、ユーザーにこれらの設定を行うことができます。

注:自動返信メールは、各送信者に1日に一度だけ送られます。

### 電子メールエリアス

各ユーザにはユーザー名(例、yamada、tanaka)が必要です。このユーザー名は電子メールの送受信時に使用されます。ユーザー名が別のサイト(例えば、ユーザー名 yamada は割り当て済みで、電子メールアドレスが yamada@abc.com)によって既に割り当てられている場合、類似した名前(yamadab)で新規のユーザを加えてください。(例:ユーザ yamadab は、yamadab@xyz.com のメールを受け取ります) 電子メールソフトウェアに返信アドレスを入力してください。

### ユーザ・セッティングの変更



名前の変更、パスワード、ディスク・スペースの制限、既存のユーザのためのテルネットアクセス、FrontPage の設定、あるいは既存のユーザをサイト管理者にするためには、サイト管理(Site Management)スクリーン上のユーザ管理(User Management)をクリックし、次に、そのユーザの鉛筆アイコンをクリックします。そして、修正するユーザ(Modify User)テーブル中で望む変更を加えてください。



既存のユーザに対する電子メールオプションをセット・アップするか修正するためには、サイト管理(Site Management)スクリーン上のユーザ管理(User Management)をクリックして、次に、ユーザの封筒アイコンをクリックしてください。現われるテーブルで、転送先電子メールアドレス、電子メールエリアおよび自動返信メッセージを入れることができます。これらのオプションは、ページ 41 のユーザ電子メールセッティング(User Email Settings) および Aliases)を参照してください。



サイト・ユーザを削除したければ、ユーザのごみ箱アイコンをクリックしてください。そして、次に現れるダイアログボックスで OK をクリックしてください。

## メーリング・リスト管理セクション

管理者サイト(Administrator Site)のメーリング・リスト・セクションでは、サイト用メーリング・リストを作成し管理することができます。

1. サイト管理(Site Management)スクリーンに行きます。
2. リスト管理(List Management)をクリックします。
3. クリックする、メーリング・リストを加えます。
4. メーリング・リストに名前を登録します。
5. External Recipients エリアにそれらの電子メールアドレスを入力することにより外部のユーザーのメーリング・リストを増すことができます。
6. リストに含みたい RaQ2 の上に既存のユーザがいれば、それらを選択するためにチェックボックスをクリックしてください。
7. 設定を保存するには Confirm New Mailing List をクリックしてください。

メーリング・リストを修正するには、サイト管理(Site Management)スクリーンに行き、リスト管理(List Management)をクリックし、メーリング・リスト用の鉛筆アイコンをクリックし、必要な情報を修正し、次に、Confirm Modify をクリックします。

メーリング・リストを削除するには、サイト管理(Site Management)に行き、リスト管理(List Management)をクリックし、あなたが削除したいメーリング・リストのごみ箱アイコンをクリックし、次に、OK をクリックします。暗い色のごみ箱アイコンのメーリング・リストが作成されるので、このメーリング・リストを削除するために、対応するグループの削除を行ってください。

## サイト・セッティング・セクション

サイト管理(Site Management)のサイト・セッティング(Site Settings)セクションで、サイトのドメインネームおよび IP アドレス、サイトのディスク容量制限、各サイトの電子メール関連、サイト上のユーザ数の制限を確認、ウェブアクセス統計の生成される周期の設定ができます。さらにシェル・アカウント、サーバー・サイド・インクルードおよびフロントページサーバー extensions、CGI へのアクセスの設定をおこなうことができます。さらにサーバー管理者により CGI の利用が許可されると、すべてのサイトユーザに対して CGI

を許可するか許可しないかを設定することができます。

サイト設定の修正はサーバー管理者のみ行うことができます。サイト・セッティング(Site Settings)セクションはサイト管理者のための読み出し専用のステータス・ページです。

CGI は、ウェブ・サイトにユーザがダイナミックな HTML ページを生成するプログラムを使うことを許可します。CGI スクリプトはユーザーのパソコン上で作成し、次に、FTP アプリケーション(5 章の中で説明されたとともに)を使用して RaQ2 に転送することができます。CGI スクリプトは.pl または.cgi の拡張子をもつファイルでなければなりません。

電子メール機能が選択されている場合、そのサイト上のユーザは、ユーザー名@domain.com を使用して、メールの機能を使うことができます。例えば、サイトの hostname が home.abc.com である場合、ユーザは、ユーザー名@home.abc.com とユーザー名@abc.com の両方に出されたメールを受け取ることができます。

## FTP セッティング・セクション

管理者は、サイト用のアノニマス FTP サーバーの許可、アップロードの許可、またファイルサイズの制限の設定を行うことができ、同時アクセスユーザ数を制限することができます。これにより、パスワードのないユーザが FTP によってファイルをダウンロードしたりアップロードすることを設定されたディスク容量の限界まで、可能にします。

サーバー管理者だけが FTP セッティングを修正することができます。FTP セッティング(FTP Settings)セクションはサーバー管理者でないサイト管理者のための読み出し専用のステータス・ページです

サイトの FTP 設定を変更するためには、サイト管理(Site Management)スクリーン上の FTP セッティング(FTP Settings)をクリックし、必要な項目を入力し、Save Change をクリックして変更を保存します。

アノニマス FTP によってファイルをダウンロードするためには、ユーザー名 guest または anonymous にてサイトにログオンします。パスワードを入力する必要はありません。ログオンすると、ディレクトリー/home/sites/sitename/ftp にログインします。サイト管理者は、FTP クライアント・ソフトウェアあるいはウェブ・ブラウザによってダウンロードするためのファイルをここにおいてください。

サイト管理者は FTP セッションに/ftp としてアノニマス FTP ディレクトリーに直接アクセスすることができます。

ファイルをアップロードするためには、FTP クライアント・ソフトウェアを使用し、ディレクトリー/home/sites/sitename/ftp/incoming にアクセスしなければなりません。一度ファイルをアップロードしたならば、ゲストでは、それにアクセスすることはできません。しかしながら、テルネット/シェル特権を持ったサイト・ユーザはすべてそれにアクセスすることができます。

FTP アップロードのために設定されたサイズ限界は FTP アップロードに分配された量の合計のディスク・スペースです。この数が 0 にセットされる場合、ゲストは FTP サイト

へアップロードすることができません。

## ディスク使用管理セクション

サイト管理(Site Management)のこのセクションでは、どれだけのディスク・スペースがサイトおよびそのユーザによって使用されているかをモニターすることができます、

## ウェブアクセス統計のセクション

ウェブアクセス統計のセクションは、サイトのウェブログファイルをダウンロードするかダウンロードされた最後のレポートを見ることを可能にします。ログファイルをダウンロードするためには、サイト管理(Site Management)のウェブの使用法のセクションに行き、次に、ダウンロードログファイル(Download Log File)をクリックしてください。

サイト・ウェブ・アクセスログファイルは、/home/sites/<sitename>/logs/access に収められています。

サイト管理者は FTP セッションで/logs/access でサイト・ウェブ・アクセスログにアクセスすることができます。

## バックアップ・セクション

サイト管理者として、異なるタイプのバックアップを実行することができます。RaQ2 上のデータをバックアップするためには、以下のステップに従ってください:

1. サイト管理者(Site Management)のバックアップ・ボタンをクリックし、データのバックアップの中で、バックアップのタイプを選択:

**サイトの Web ・ FTP データ、ユーザのファイルおよび電子メール。** ユーザーのファイルと電子メールおよびサイトの Web ページ、FTP のデータをすべてバックアップします。

**ユーザーのファイルと電子メール。** これは、ユーザーのファイルおよび電子メールをバックアップします

2. すべてのファイルあるいは、ある時間枠の内で変更されたファイルをすべてバックアップするためには、「過去どれだけの期間に変更されたファイルをバックアップするか?」のプルダウンメニューからを選んでください。すべてのファイル、31 日、14 日、7 日、2 日、あるいは 1 日前の期間を選ぶことができます。
3. スタート・バックアップ(Start Backup)をクリックします。
4. バックアップ・データを格納するパソコン上のパスおよびファイル名を割り当てて、次に、SAVE をクリックします。

ファイルの転送には数秒から数分かかります。ファイルの転送を中断しないでください。転送が失敗した場合には、パソコン上のバックアップファイルを削除して、再度転送してください。そうでなければ、そのファイルをリストアしようとしたときに、データをおかしくする可能性があります。

**!警告:**インターネット・エクスプローラー 3.0 を使用して、バックアップを行うことはできませんが、リストアを行うことはできません。ブラウザをアップグレードするか、ある



いは最新のブラウザを使用してバックアップしてください。

### バックアップのスケジューリング

自動的にバックアップを行うことが可能です。マニュアルでバックアップを行う手間が省けます。:

6. 管理者サイト(Administrator Site)/メンテナンススクリーン一番上の Backup ボタンをクリックします。
7. Scheduled Backup をクリックします。
8. 「データのバックアップ」で、前のセクション中のステップ 2 に記述されているようにバックアップのタイプを選択します。
9. すべてのファイルあるいはある期間に変更されたファイルをバックアップするかは「過去どれだけの期間に変更されたファイルをバックアップするか?」のプルダウンメニューからを選んでください。
10. 自動バックアップの周期を選びます。
  - 毎日 午前 1 時
  - 毎週 日曜夜、午前 1 時
  - 毎月 1 日の午前 1 時
11. バックアップ方法を選びます。
  - ・ FTP サーバー バックアップファイルを置く FTP サーバー
  - ・ NFS バックアップファイルを置く NFS
12. バックアップ・データの保存する位置を指定します。指定する位置は、ステップ 6 で選択したバックアップ方法に依存します。ここで入ることができる位置の説明に関しては、下記の Backup ファイル位置を参照してください。
13. Save Changes をクリックします。

### バックアップ・ファイルの位置

#### A . FTP サーバーのバックアップ:

- ・ username@ftp.server.com と記述すると、ユーザー名でログインした指定のサーバーのディレクトリに保存します。
- ・ username@ftp.server.com/path/to/backups/ と記述するとユーザー名でログインし、サーバーの指定するパスのディレクトリバックアップファイルを入れる保存します。

#### B.アノニマス FTP バックアップ:

- ・ 書き込みアクセスを持つアノニマス FTP のサーバー名とディレクトリー名を入力してください。一般に /incoming/ ディレクトリーです。
- ・ ftp.server.com/income/ 、と入力すると ftp.server.com の incoming ディレクトリにバックアップファイルを保存します。
- ・ Password フィールドはアノニマス FTP の場合には空欄にしてください。

#### C.NFS サーバー(NFS Server)バックアップ:

- ・ サーバーが NFS サーバーで、NFS のマウントボリュームが share である場合、server:/share と入力してください。このディレクトリーに対して書き込み権限を持っている

なければなりません。

- ・ Password は、NFS サーバー・バックアップでは無視されます。

#### **すべての予定された(All Scheduled)バックアップ:**

バックアップ・アーカイブを保持するためにバックアップ先のディスクに十分なディスク・スペースがあることを確かめてください。そうしないと正しくバックアップが行われなくなります。

#### **リストア**

RaQ2 のデータのリストアは単純に行えます。バックアップファイルのあるマシンからリストアを行います。(ユーザは自分の個人のディレクトリーを回復することができます。)

1. 管理者サイト(Administrator Site)の左側のメンテナンス・ボタンをクリックします。
2. スクリーンの一番上の Restore ボタンをクリックします。
3. バックアップファイルのパスおよびファイル名を入力するか、あるいは参照ボタンをクリックし、リストアするファイルを選択します。ネットスケープ 4.x あるいはインターネット・エクスプローラー 4.x 以上を使用しているにもかかわらず、ファイルがリストに表示されない場合には、ファイルの種類をすべてのファイルにしてください。
4. リストアするファイルを選びます。
5. Restore A Backup File をクリックしてください。

注:大きなバックアップ・アーカイブのリストアを行うとブラウザはタイムアウトを起こす場合があります。Administrator のホームディレクトリーへ FTP により".raq"アーカイブファイルをアップロードし、それをリストアすることができます。

マイクロソフトインターネット・エクスプローラー(Microsoft Internet Explorer)バージョン 3 ではアーカイブのリストアはできません。 データを悪くする可能性がありますので、最新のブラウザを使用してください。回復するプロセスが中断される場合、再度やり直してください。ユーザ・ホームディレクトリーあるいはグループ・ホームディレクトリーを回復するためには、ユーザあるいはグループが存在していることを確かめてください。

データがリストアされると、RaQ2 およびその対応する部分(グループ、ユーザ、電子メール)はバックアップを行った時点のデータに戻ります。

**!警告:**最新のバックアップデータ以外からのリストアを行うと、それ以後に変更されたデータは上書きされてしまいます。

## **サーバー管理**

サーバー管理者は、サイト管理(Site Management)スクリーン上のサーバー管理(Server Management)のクリックによりサーバー管理(Server Management)スクリーンに戻ることができます。

## ウェブ・ページの公開

RaQ2 のウェブ・ページの公開についての情報に関しては、ページ 52 のウェブ・ページの作成、ページ 53 の FTP によるウェブ・ページの公開、およびページ 54..49 の FrontPage を使用したウェブ・ページの公開を参照してください。

## サービスの利用

本章では、サイト・ユーザが利用できる機能について説明します。サイト・ユーザは、パスワードの変更、電子メールオプションの設定、自分のディレクトリのディスク・スペース使用量の確認、ファイルのバックアップ・リストア、電子メールの送受信、ウェブ・ページなどのファイルのアップロードが可能です。

### パーソナルプロフィールの管理

任意の標準のブラウザを使用して、ユーザーアカウントを管理します。URL `http://<sitename>/personal` のタイプによりパーソナルプロフィール(Personal Profile) スクリーン(図 10 を参照)にアクセスしてください。ユーザー名およびパスワードの入力が必要です。

図 10 個人プロフィール

パーソナルプロフィール(Personal Profile)スクリーンで利用可能な管理機能を、以下に説明します。

#### ユーザの修正

このセクションでは、名前およびパスワードを変更することが可能です。Modify User をクリックし、パーソナルプロフィール(Personal Profile)スクリーン上の必要な部分を変

更します。Confirm Modify をクリックすることにより、変更が保存されます。

## 電子メール

電子メールセクションでは、次で説明する電子メールオプションを選択することができます。 パーソナルプロフィール(Personal Profile)スクリーンの電子メールをクリックしてください。

### 電子メールの転送

別の電子メールアカウントに電子メールを転送する設定を行うことができます。電子メールセティング(Email Settings)テーブル中の Forward Email To に転送先アカウントを入力してください。

### 自動返信の設定

電子メールを送る人のもとへ自動的に返信メッセージを送ることができます。設定は下記のステップに従ってください:

1. URL <http://<sitename>/personal/> に ID とパスワードを使用してアクセスしてください。
2. パーソナルプロフィール(Personal Profile)スクリーン上の電子メールをクリックします。
3. VacationReply のチェックボックスを On にします。
4. スクロールフィールドで、ユーザに受け取ってほしいメッセージのテキストを入力します。
5. Save Changes をクリックします。

注:自動返信電子メールは、各送信者に 1 日当たり一度だけ送られます..

## ディスク使用量

パーソナルプロフィール(Personal Profile)の Usage Data セクションは、使用中の、未使用および合計のディスク・スペースを表示します。このテーブルにアクセスするためには、パーソナルプロフィール(Personal Profile)スクリーン上の Usage Data をクリックしてください。

## バックアップ

サイト・ユーザとして、ホームディレクトリーをバックアップすることができます。これを行うためには、パーソナルプロフィール(Personal Profile)スクリーンで、バックアップをクリックして、指示に従ってください。バックアップを実行する準備ができていれば、Backup My Home Directory をクリックしてください。

## リストア

バックアップされたホームディレクトリーファイル(あなたのローカル・ディスクからサーバーのホームディレクトリーへ)のリストア:

1. パーソナルプロフィール(Personal Profile)スクリーンにアクセスします。
2. Restore をクリックします。
3. BROWSE をクリックし、リストアする.raq バックアップファイルを選択します。
4. ファイルのうちいくつかだけを回復したい場合には Selective Restore をクリック

してください。

5. ファイルをリストアする準備が整ったら Restore a Backup File をクリックしてください。

## 電子メールの使用

電子メール機能を使用するためには、電子メールパラメーター・セッティングを正確に行う必要があります(??ページの Email Server を参照)。さらに、電子メールを送受信するために電子メールアプリケーションの設定も必要です。

次の情報があなたの電子メールプログラムに入力されることを確かめてください:

1. 電子メールアドレス。

フォーマットは次のとおりです:

ユーザー名@hostname.domainname、

(例: myname@raq1.cobaltnet.com)

- ・ユーザー名はあなたに割り当てられたユーザ ID です。(例えば myname)
- ・hostname はサーバーに割り当てられている名前です。(例えば raq1)
- ・ドメインネームは InterNIC で登録される正式なドメインネーム(例えば cobaltnet.com)あるいはネットワークに特有のイントラネット・ドメインネームのいずれかです。(システム管理者からこの情報を得てください。)

2. SMTP サーバー。

フォーマットは hostname.domainname(例: raq1.cobaltnet.com)です。

3. POP3 サーバー(POP3 Server)。

フォーマットは hostname.domainname(例: raq1.cobaltnet.com)です。

4. IMAP サーバー(IMAP Server)。

フォーマットは hostname.domainname(例: raq1.cobaltnet.com)です。

注意:電子メールアプリケーションによっては"incoming"メール・サーバーを求めます。このサーバーは POP3 サーバーになるでしょう。

## ウェブ・ページの開発

パソコン用アプリケーションの HTML エディターおよび HTML 開発ツールなどを使用して、複雑なウェブ・ページを作成することができます。パソコンでウェブ・ページをそれら自身作成しリンクすることができ、次に、FTP アプリケーション(下に記述されたとともに)によってサーバーの適切なサブディレクトリにそれらを移動させることができます。

### CGI スクリプト

RaQ2 は、Perl、C あるいは他の言語ので書かれたもののような CGI スクリプトをサポートしています。CGI が、サイト(サイト管理(Site Management)スクリーンのサイト・セッティング(Site Settings)セクション中の)に対して許可されている場合にのみ、ウェブに CGI スクリプトを実行することができます。

CGI スクリプトの使用により高度に対話型で強力なウェブ・ベースのアプリケーションを開発することができます。簡単な予定表や会議アプリケーションから高度なエレクトロニ

ック・コマースソリューションにいたるまで、利用することができます。

パソコン上で CGI スクリプトを開発し、FTP で.cgi や.pl のファイルをサーバーに転送してください。CGI ASCII モードを使用してください。ファイルをサーバーに転送したら、パーミッションの設定機能をもつ FTP プログラム(WsFTP など)やテルネットコマンド (chmod 775 filename.cgi)でスクリプトを実行可能にしてください。

Perl へのパスは/usr/bin/perl です。

ユーザーが CGI を利用できるには、user サイト(サイト管理(Site Management)スクリーンのサイト・セッティング(Site Settings)セクション中の)の設定で CGI が許可されていなくてはなりません。CGI スクリプトをウェブ・サーバーによって実行可能にするには、ファイル名拡張子は.plまたは.cgiにする必要があります。

## FTP によるウェブ・ページのアップロード

ウェブ・ページを作成した後に、FTP を使用して、それらをアップロードすることができます。

次の情報をお確かめください:

- ・ RaQ2 の hostname あるいは IP アドレス。
- ・ ユーザー名およびパスワード。
- ・ メインページ(デフォルトは index.html です)に保存するファイル名。

その後、FTP ソフトウェアを使用し、RaQ2 への FTP リンクを確立して、次に、あなたの HTML ファイルをアップロードしてください。FTP の使用方法については、FTP アプリケーションのマニュアルを参照してください。

デフォルトでは、FTP によってアップロードするファイルはあなたのパーソナルディレクトリーに格納されます、ディレクトリー・パスは、次のとおりです:

```
/home/sites/sitename/users/username
```

sitename は、あなたのサイトの完全なドメイン名で、username はあなたのユーザー名です。

サイト管理者へ注意: サイトにウェブ・ページを置くには、ディレクトリー /home/sites/sitename/web にアップロードしなければなりません。(サイト管理者あるいはサーバー管理者だけがこのディレクトリーにアップロードすることができます。) もしこのディレクトリーを指定しなければ、ウェブ・ページは、ウェブ上でアクセス可能にはならず、パーソナルディレクトリーに格納されてしまいます。

サイト管理者はサイトのルートディレクトリーである、/web のファイルを編集することができます。このサイトルートは http://<sitename>でアクセスすることができます。

サイト管理者は、パーソナルウェブサイトのディレクトリー/users/<username>/web の中のパーソナルウェブ・ページを編集することができます。パーソナルウェブ・サイトは

http://<sitename>/users/<username> または http://<sitename>/~<username>/ でアクセス可能です

ユーザは、パーソナルウェブサイトのディレクトリー/ web 中のパーソナルウェブ・ページを編集することができます。

## フロントページを使用したウェブ・ページの作成

フロントページサーバーエクステンションが利用可能である場合、サイト管理者はマイクロソフト・フロントページソフトウェアを使用して、サイトの root web を開くことができます。

フロントページを使用してウェブ・ページの作成するには:

1. パソコン上でフロントページエクスプローラー(FrontPage Explorer)を使用して、フロントページウェブを開くを選択してください。
2. その他のウェブを選択します。
3. ホスト名をウェブ・サーバーフィールドに入力してください。
4. リスト・ウェブ(List Webs)ボタンをクリックします。
5. ルートウェブと命名されるウェブを選びます。
6. OK をクリックします。

Frontpage に関する詳しい情報は、<http://www.microsoft.com/japan/>を参照してください。

## テルネットの使用

Telnet アクセスを行うにはサイト管理者(サイト管理(Site Management)スクリーンのユーザ管理(User Management)セクションによる)が、個々のユーザのために許可している必要があります。

Telnet は、シェル・スクリプトあるいはシェルコマンドを実行したいユーザだけが使用するべきです。UNIX オペレーティング・システムの理解できている人だけが利用すべきでしょう。

RaQ 管理者に対する警告: システム構成ファイルを修正すれば、サーバーの実行に悪影響を及ぼす危険性があります。利用約款をお読みください。

注意: 直接の root ログインは許可されません。ユーザ"admin"として telnet ログインしたあと、コマンドプロンプトから、"su-"コマンドを使用してください。そして、パスワード・プロンプトで administrator's パスワードを入力してください。

サーバー管理者だけが root になる権限をもっています。



## 高度な情報

### 連続するコンソール・ポート

RaQ2 の背面の dB-9 のコネクタにコンソール・ターミナルを接続することができます。ターミナルは ASCII ターミナルあるいはターミナルのソフトウェアを実行する PC のいずれかが使用できます。

コンソール・ターミナルは次のコミュニケーションパラメーター、9600 ボー、8 データ・ビット、ノンパリティおよび 1 つのストップビットが必要です。

### 開発ツール

RaQ2 は、アプリケーション開発およびサーバー管理を支援するためにユーティリティのコレクションを提供します。これらのツールは次のものを含んでいます：

- GNU C/C++コンパイラ(gcc)、およびライブラリー
- テキストエディター(emacs、vi)
- GNU Bourne Again Shell
- ファイル・システム・ユーティリティ(ls、mv、cp、ln、rm、chmod、chown、chgrp、du、df)
- ファイル解析ユーティリティ(sed、awk、diff)
- ファイル・ユーティリティ(cat、more、less)
- 検索・ユーティリティ(find、grep、which)
- アーカイブ・ユーティリティ(gzip、tar、cpio、rpm)
- ネットワーク・ユーティリティ(ftp、telnet、netstat、ping、finger、mail、pine)
- パールプログラミング言語、

これらのユーティリティは次のディレクトリーに見つけることができます：

```
/sbin  
/bin  
/usr/sbin  
/usr/bin
```

さらに、RaQ2 の Linux 分配は、他のコンピューター上で見つけた RedHat Linux 分配と高度に互換性をもちます。これは、事実上、他の Linux アーキテクチャー(例えば Intel、SPARC、Alpha)上でコンパイルできるソース・コードがすべて RaQ2(MIPS のプロセッサベースのシステム)上でもコンパイルすることができることを意味します。したがって、供給された GNU C/C++コンパイラを備えた RaQ2 で見つからないユーティリティを容易に作成することができます。

### 構成ファイル

開発上 必要であれば RaQ2 の設定ファイルのうちのいくつかを変更することができます。

関連する設定ファイルおよびディレクトリー：

- 電子メール  
/etc/inetd.conf

```
/etc/sendmail.*  
/etc/メール/  
• DNS  
/etc/named/  
• FTP  
/etc/proftpd.conf  
• Web  
/etc/httpd/conf/*.conf
```

!警告:上記の設定ファイルの変更は、RaQ2 のウェブ・ベースの管理サービスあるいは管理サービスそれ自身のオペレーションに影響します。

### ディレクトリー構造

RaQ2 の上のディスクは 4 つのセグメントへ分割されます。  
ほとんどの利用可能なディスク・スペースは/home からマウントされたパーティション上にあります。このパーティションの下のほとんどは作業をするのに最適な場所です。デフォルトで、パーティションの割り当てが行われ、およびシステムソフトによって使用されます。

### サーバー・ホーム・ページ

ウェブ・サーバーのためのドキュメントルートは RaQ2 のメインサイトです:

```
/home/site/home/web
```

このディレクトリー中のウェブ内容は URL `http://IP アドレス` に関係しています。例えば次のように保存されたファイル:

```
/home/site/home/web/testdir/test.html
```

は、次の URL によってアクセスできます:

```
http://IP アドレス/testdir/test.html
```

注意: IP アドレスは、RaQ2 の IP アドレスか `hostname.domainname` を参照します。

### バーチャルサイト・ホーム・ページ

バーチャルサイトウェブ・ページ内容のためのドキュメントルートは次のとおりです:

```
/home/site/sitename/web
```

例えば、`www.cobaltnet.com` は、`/home/site/www.cobaltnet.com/web`

にウェブのドキュメントルートを持ちます。

RaQ2 管理者あるいはサイト管理者だけがこのディレクトリーにアップロードすることができます。このディレクトリー中のウェブ内容は URL に関係しています、`http://sitename/`。

例えば次のように保存されたファイル:

```
/home/site/sitename/web/testdir/test.html
```

 は、次の URL によってアクセスします:

```
http://sitename/testdir/test.html
```

注: Sitename は、対応するバーチャルサイトの `hostname.domainname` を参照します。

### ユーザ・ホーム・ページ

主要なサイト上のユーザがウェブ・ベースの管理スクリーンによって作成される場合、ユーザのホームディレクトリーは次のものの中で作成されます：

/home/site/home/users/username/web

それらのウェブ・ページの内容は次のもので見ることができます：

http://IP アドレス/users/username/ あるいは

http://IP アドレス/~username/

ウェブ・ベースの管理スクリーンを使用して、バーチャルサイト上のユーザが作成される場合、ユーザのホームディレクトリーは次のとおりです：

/home/sites/sitename/users/username

ユーザデフォルトウェブ・ページは次のとおりです：

/home/sites/sitename/users/username/web

それらのウェブ・ページの内容は次の URL で見ることができます：

http://sitename/~username/

### **ユーザのための CGI 使用法**

CGI が利用可能に設定してあれば、サイト上の任意のディレクトリー中で CGI ファイルを保存することができます。CGI ファイルは実行可能です。また、ファイルは.pl または.cgi の拡張子にしてください。

ウェブ・サーバーは、cgiwrap(それは execu の準備ができていた許可を保存する)を使用して、CGI スクリプトを実行するために設定されます。

この安全対策に関するより詳細には、次のものを参照してください：

http://www.umn.edu/~cgiwrap/